お出かけ支援アプリ

外部設計書

第1.5版

2022年　1月　22日

システム開発演習B

1. 目的

観光において、観光客の快適性を高めながら、同時に移動中の操作でも危険が伴わない簡単な操作ができるシステムの機能、性能、利用者インタフェース、などのシステム要件を実現するためのシステム外部からみた設計条件を規定する。

２．用語の定義

(1)　ユーザ

お出かけ支援アプリの利用者、主に旅行を行う人。

(2) 専用ブラウザ

お出かけ支援アプリが特定の機能を使用する際に用いる専用のブラウザのこと。

３． システム概要

本システムは、OpenWeather APIを使って、 観光地周辺の天候情報をリアルタイムで把握し、観光ルートの最適化を行うシステムである。

*（以下には、要件定義書から導かれた具体的な動作の様子をまとめること。）*

(現在地と目的地を入力しマップボタンを押すと，Google Mapsを起動し，現在地から目的地までのルートを表示する．

目的地を入力し,観光ボタンを押すと，目的地の観光スポットをGoogle検索する．

アラームボタンを押すと、アラーム画面を起動し、設定した時間になると音声を鳴らす．

メールボタンを押すと、メール画面を表示する．

現在地,経由地,目的地を入力し、天気ボタンを押すとそれぞれの天気をする．

３．　機能

① マップ表示機能

② 観光スポット表示機能

③ メール機能

④ アラーム機能

⑤ 天気表示機能

⑥ スリープ防止機能

⑦ 言語切り替え機能

５．　ユーザインタフェース

(1) マップ表示機能のユーザインタフェース

アプリを起動すると、初期面面を表示する（図１)

　　　　↓

入力欄に現在地,経由地,目的地を入力する（図２)。

　　　　↓

マップボタンを押す

　　　　↓

お出かけ支援アプリはGoogle Mapsを起動し,現在位置から目的地までのルートを表示する（図３)

(2) メール遷移機能のユーザインターフェース

アプリを起動すると、初期面面を表示する（図１)

　　　　↓

メールボタンを押す

　　　　↓

お出かけ支援アプリは専用ブラウザを表示する（図4)

　　　　↓

宛先、件名、本文を入力する

　　　　↓

送信ボタンを押す

　　　　↓

お出かけ支援アプリはメールアプリを起動し、宛先、件名、本文をペーストする

(3) 天候確認機能のユーザインターフェース

アプリを起動すると、初期面面を表示する（図１)

　　　　↓

入力欄に現在地,経由地,目的地を入力する（図２)

　　　　↓

天気ボタンを押す

　　　　↓

お出かけ支援アプリは初期画面に天候情報を表示する（図5)

(4) アラーム機能

アプリを起動すると、初期面面を表示する（図１)

　　　　↓

アラームボタンを押す

　　　　↓

お出かけ支援アプリは専用ブラウザを起動する（図6)

　　　　↓

時間設定ボタンを押す

　　　　↓

お出かけ支援アプリは時間設定画面を表示する（図7)

　　　　↓

文字盤を押し、時間を設定すると、お出かけ支援アプリは、専用ブラウザに設定した時間を表示する

　　　　↓

セットボタンを押す

　　　　↓

お出かけ支援アプリはアラームをセットする

　　　　↓

お出かけ支援アプリは設定した時間になるとアラーム音を鳴らす．

(4) 観光スポット表示機能のユーザインタフェース

アプリを起動すると、初期面面を表示する（図１)

　　　　↓

入力欄に目的地を入力する（図２)。

　　　　↓

観光ボタンを押す

　　　　↓

お出かけ支援アプリはGoogleブラウザを起動し,天候に合わせた目的地周辺の観光スポットを検索する

グラフ が含まれている画像

自動的に生成された説明

図１ お出かけ支援アプリの初期画面イメージ

パソコンの画面

自動的に生成された説明

図２ 入力中画面イメージ

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

自動的に生成された説明

図３　ルート表示イメージ

グラフ

中程度の精度で自動的に生成された説明

図4　メール画面表示イメージ

グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション

中程度の精度で自動的に生成された説明図5　天気情報表示イメージ

ダイアグラム

自動的に生成された説明

図6 アラーム画面表示イメージ

設計図

自動的に生成された説明

図7　時間設定画面表示イメージ

以上